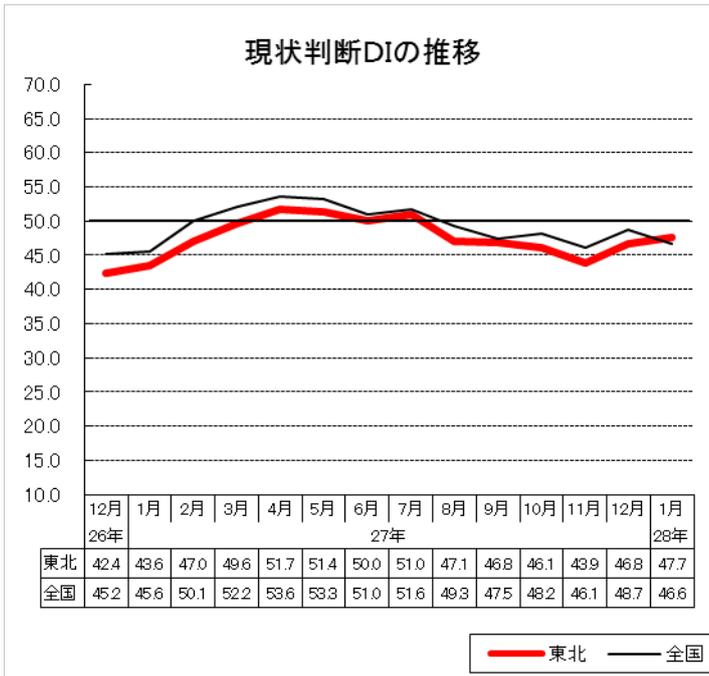


公益財団法人東北活性化研究センター  
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 1 月東北分  
(新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 1 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

**1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）**

現状判断 DI は「47.7」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.9 ポイントとわずかに上回ったが、6か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



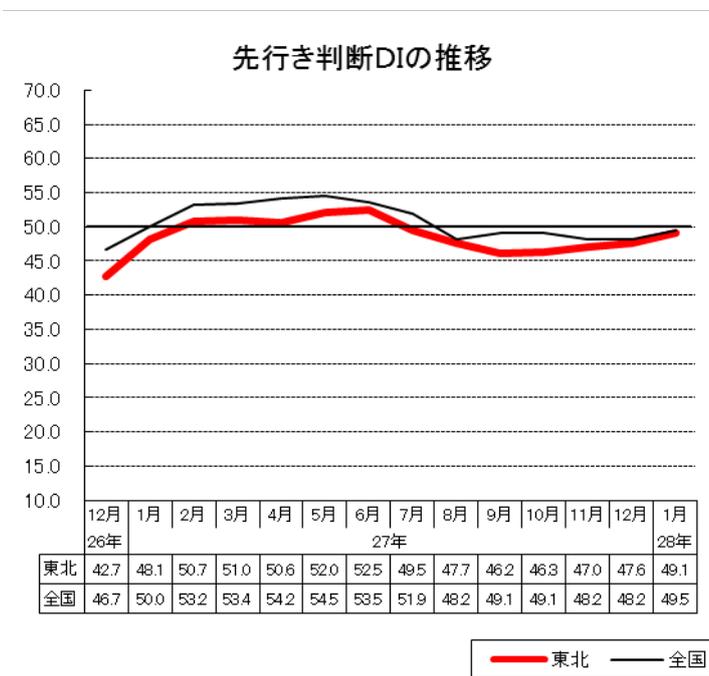
・家計動向…一般レストラン、観光型ホテル、一般小売店等の業種で DI が前月から下回ったが、その他専門店、衣料品専門店、高級レストラン等で DI が前月を上回った。DI は「47.3」(+1.6)と 2 か月連続で前月を上回ったが、基準値 50 を 8 か月連続で下回った。

・企業動向…司法書士・経営コンサルタント、その他企業動向を把握できる者等で DI が前月を上回ったが、その他非製造業、農林水産業従事者、金融業等の業種で DI が前月から下回った。DI は「47.0」(▲0.4)と 2 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 6 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「51.1」(▲1.2)となり、2 か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 2 か月連続で上回った。

**2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）**

先行き判断 DI は「49.1」と4か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.5 ポイントとやや上回ったが、7か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



・家計動向…百貨店、商店街代表者、スーパー等の業種で DI が前月から下回ったが、住関連専門店、高級レストラン、都市型ホテル等で DI が前月を上回った。DI は「48.8」(+2.2)と 2 か月連続で前月を上回ったが、基準値 50 を 7 か月連続で下回った。

・企業動向…農林水産業従事者等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「49.4」(+3.3)と 2 か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 2 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「51.1」(▲5.7)と、3 か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 3 か月連続で上回った。

## <参 考>

### ■D I の推移※

#### (1) 現状判断 (方向性) D I

	26年		27年										28年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	42.4	43.6	47.0	49.6	51.7	51.4	50.0	51.0	47.1	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7
家計動向関連	41.3	42.5	46.0	49.1	51.6	53.0	48.6	48.7	46.2	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3
企業動向関連	44.6	44.6	50.0	50.6	53.0	46.4	55.4	56.1	47.5	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0
雇用関連(参考)	45.5	48.9	47.7	51.1	50.0	51.1	48.9	56.0	52.3	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1

#### (2) 先行き判断D I

	26年		27年										28年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	42.7	48.1	50.7	51.0	50.6	52.0	52.5	49.5	47.7	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1
家計動向関連	41.8	47.3	51.0	51.2	50.7	52.8	51.0	49.3	46.9	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8
企業動向関連	44.6	51.8	50.0	49.4	51.2	50.0	56.5	48.2	49.4	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4
雇用関連(参考)	45.5	46.6	50.0	52.3	48.9	51.1	54.5	53.6	50.0	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 平成 28 年 1 月 25 日～31 日

回答者数 204/210 名、回答率 97.1%(全国 1,871/2,050 名、91.3%)

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)  
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10  
TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

（百貨店）…今月は週末の雪が続くなど天候条件が良くないなか、ほぼ前年並みの売上となっている。初売り商戦はやや苦戦したものの、その後のクリアランスについては初日の売上が前年を上回るなど順調に推移している。また、ここ数か月苦戦が続いた婦人服も回復の兆しがみえてきており、大手ブランド撤退の影響を除けばコート類が前年とほぼ同じ売上となっている。

（衣料品専門店）…暖冬ではあるが徐々に気温は下がっており、ベーシックで手頃な商品の動きは鈍いが、価格と価値のバランスが取れている商品の動きは活発で、全体を押し上げている。

（乗用車販売店）…初売りの効果で状況は良くなっている。

（高級レストラン）…冬季競技大会の開催により県外からの来客が多くみられている。それに伴い、地元客の動きも例年と比較して良くなっている。また、降雪量が少ないことも良い要因となっている。

（都市型ホテル）…夏の終わりから前年を下回っていた一般宴会が、12月後半から徐々に持ち直してきている。また、宿泊もインバウンドの影響が表れているのか、稼働率はあまり落ち込むこともなく横ばいの状況である。

（旅行代理店）…テロの影響で旅行を控えていた客が動き出しており、年度末に向けた団体旅行の受注状況が改善している。また、北海道新幹線開業を前に、函館を中心とした道南方面への受注が増加している。

（通信会社）…新規加入者自体は少ない状況のままあまり増えていない。しかし、新規メニューのPR効果もあり、既存加入者の解約は3か月前と比べて大幅に減少している。

（出版・印刷・同関連産業）…年度末に向けての受注が増えている。しかし、今年からは何件か経費削減のために注文を取り止めるケースが出てきている。

（建設業）…準官公庁系の工事発注に若干の進展がみられている。

##### ○「変わらない」

（スーパー）…年末商戦、クリスマス商戦、年始商戦共にほぼ前年並みで推移し、大きな数値の変化はない。ただし、今月中旬以降の降雪により、買物の様相は例年同様の週末集中型になっている。

（コンビニ）…降雪が少なく前年と比較して来客数が増加しているが、逆に客単価は低下している。そのため、物販は横ばい状態となっている。

（酒類専門店）…暖冬から一気に冬の気候及び積雪となり、飲食店は来客数が減少して対応に苦勞している。また、店頭販売も年末の在庫が思った以上に動かないため、今月は全体的に低迷している。

（タクシー運転手）…客は正月が終わってほっとした様子であるが、なかなか財布のひもは緩くならないようである。

（住宅販売会社）…受注の確約は取れているものの、契約までの時間が長いこと、受注予定の時期が読めない状況である。

（食料品製造業）…全体的な販売量の前年割れ傾向は例年と変わらないが、今冬の暖冬傾向が影響したのか、特に清酒が悪く前年比90%の販売量となっている。

（土石製品製造販売）…今季は積雪量が少なく予定より工事が進んでいる。しかし、1月に入って積雪量が増えたことから、受注量が大きく増えていない。

（金融業）…暖冬で除雪関連の業者は影響を受けているものの、県外からの受注がある製造業の業績は堅調に推移している。

（広告代理店）…様子見をしているのか、得意先の状況にあまり変化はみられていない。

（人材派遣会社）…企業側の採用の動きは堅調であり、欠員補充だけではなく中長期を見据えた採用も多々

みられている。また、費用をかけてでも採用をするという動きを取る企業の数も増えている。

(新聞社[求人広告])…多くの業種で人手不足感はあるものの、正規雇用の募集広告は案外少ない状況である。

### ○「やや悪くなっている」

(商店街)…新年になってさすがにアベノミクスも色あせた感がある。景気上昇の機運は全く無いといっている。やはり根本的な問題である所得格差の縮小を第一とした政策が必要ではないか。収入の増加が明確になれば消費に回るわけがない。

(家電量販店)…暖冬傾向にもかかわらず年末年始の売上は前年を上回っており、また、暖冬の影響で売れていなかった暖房用品も、寒波によって徐々に動き出している。ただし、AV家電、白物家電のような大きく単価の高いものは前年を下回っている。景気に対する不安感が広がっており、客の消費マインドが低下しているようである。

(住関連専門店)…前年は比較的高単価な商品が売れていたが、最近になって客は再び低単価な商品に手を伸ばしている。

(一般レストラン)…今年から新年会を開催しなくなっている会社があるとの話を客から聞いている。実際に当店の新年会の数を前年と比較したところ、やはり少なくなっており、周辺の会社関係も景気は良くないようである。

(観光型ホテル)…秋口は団体旅行シーズンで来客数は好調であったが、1月は新年会などの団体客、個人客の来客数が思いのほか伸びていない。

(観光名所)…今年は降雪が少なく、近隣のスキー場などもオープンが遅れて、人の動きが少ない様子である。

(設計事務所)…今の時期は毎年仕事が少ない時期ではあるが、今年はこちら3年の中で一番の仕事の少なさであり、特に住宅関連の仕事が無い状態である。

(農林水産業)…廃業農家から稲作の受託が増えている。米価低迷の影響により、耕作面積が増えるほど収益は圧迫されている。

(職業安定所)…平成27年12月の新規求人数は前年比8.0%の減少であり、3か月前との比較でも14.0%の減少となっている。季節的なものを除いても下げ幅が大きいため注意が必要である。また、月間有効求人数は前年比4.4%の減少となっており、3か月前と比較しても6.1%の減少と、こちらも下げ幅が大きい状況である。

### ○「悪くなっている」

(医薬品販売店)…今年暖冬であったが、今月中旬以降は週末になると大雪が降り、せっかくの書き入れ時である土日に非常に大きなダメージを受けている。そのため、全体的な来客数が大きく落ち込んでいる。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(住関連専門店)…今後年度末に向けて需要期となるため、期待している。

(酒類専門店)…人が動く時期であり、歓送迎会などによる飲食店への販売量の増加に期待したい。また、このまま原油価格がある程度安い状態が続けば、消費者の購買意欲が高まるのではないかと。

(都市型ホテル)…1月はインバウンドによる外国人観光客の宿泊が、中国からの3本のツアーを含めて200室ほどになっている。営業の成果や北陸新幹線の開業の影響もあるが、インバウンドの客がだんだん増えていっているように見受けられ、全体的に良い方向に動いている。この状況が加速したまま3月26日の北海道新幹線の開通日を迎えられると期待している。

(観光名所)…団体ではなくフリーで国内を回っている外国人観光客が増えている。インバウンドによる来客数が好調であり、予約状況も大変良好である。外国の休暇期間以外でもこのままの状況が続けば、景気

は良くなるのではないか。

(建設業) …新規公共工事の発注にどの程度の予算が割り当てられるかは、現在の状況では予測ができないことから、先行きを判断するには情報不足である。一方で再生可能エネルギーに関する民間案件については、飛び込み発注を行う事業者が出る可能性がある。

(広告業協会) …来月から初夏にかけて、東北モーターショー、大型小売店の増築や新規出店、震災5周年企画、北海道新幹線開業などイベントが目白押しであり、広告業界は期待している。

(司法書士) …住宅ローン金利が下がっている。また、この先消費税率10%への引上げ前の駆け込み需要も期待できる。

## ○「変わらない」

(医薬品販売店) …ここ2か月ほどは店頭の売上が芳しくない。不安定な株価にも要因があるだろうが、このような経済状況では緊縮政策がとられるとは考えにくい。需要は引き続きあることから、世の中のお金の回りが良くなれば景気は着実に回復するとみている。

(スーパー) …現在の株価の乱高下、円為替の変動、原油安の長期化予想、外需低迷懸念などの国内経済への影響が懸念される。また、継続的な内需拡大や消費環境改善の要因は見当たらず、地方における消費動向に変化はないとみている。

(コンビニ) …現在の来客数及び単価動向から、この先春へ季節が変わっても大きなプラス要因があるとは考えにくい。

(一般レストラン) …株価の乱高下などから景気は下降しそうだが、かといって極端に悪くはならないとみている。

(電気機械器具製造業) …年度末までは、製造業の受注量増加の状況が続くとみている。一方で先を見据えて新規の事業を開拓しようとする動きが出始めており、今後の重要な課題は人材の育成である。

(飲食料品卸売業) …ネガティブな要素として株価や為替の値動きが不透明なことがあげられる。そのため、消費も守りの傾向で推移するとみている。

(人材派遣会社) …人員の入替時期となるが、新年度以降の先行きの不安感から、離職した人員の補充に消極的な店舗も少なくない。

(新聞社[求人広告]) …2017年4月の消費税率10%への引上げで景気の下振れが予測されるなか、採用計画に慎重になっている企業が多くみられる。

## ○「やや悪くなる」

(百貨店) …消費税率10%への引上げを控えて、生活防衛意識が顕著になっている。生活必需品のまとめ買いもなく、必要なものを必要なときに買うという購買スタイルが定着してきており、節約志向の度合いはさらに増すとみている。

(タクシー運転手) …年金額の減少や、この先に見込まれる消費税率10%への引上げへの懸念からか、お年寄りの乗客が極端に少なくなっている。このような状態で景気が良くなるとは考えにくい。

(土石製品製造販売) …豪雪地域では工事を中止するところが出てきている。また、この先2~3か月は大きい工事が入っていないため、景気が上向くとは考えにくい。

(職業安定所) …平成28年1月の新規求人数は、前年比約6.5%の減少が見込まれている。平成27年12月の有効求人倍率は、前年比0.15ポイント低下しており、2~3か月先の状況は厳しいとみている。

## ○「悪くなる」

(農林水産業) …米価低迷が与える大規模水田経営への悪影響は、今後一層大きくなるとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上